

2020〔令和2〕年度

事業報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

一般財団法人 高砂市勤労福祉財団

目 次

事 業 報 告 書

1 概 要

(1) 総 括 事 項	P. 1
(2) 理 事 会 に 関 す る 事 項	P. 2
(3) 評 議 員 会 に 関 す る 事 項	P. 3
(4) 監 査 に 関 す る 事 項	P. 3
(5) 役 員 に 関 す る 事 項	P. 4
(6) 評 議 員 に 関 す る 事 項	P. 4
(7) 職 員 に 関 す る 事 項	P. 4

2 事 業

(1) 福 利 厚 生 事 業 の 報 告	P. 5
(2) 相 談 及 び 情 報 提 供 事 業 の 報 告	P. 7
(3) 啓 発 事 業 の 報 告	P. 8
(4) 施 設 管 理 運 営 事 業 の 報 告	P. 8
(5) 自 主 事 業 の 報 告	P. 9

3 財 務 諸 表

(1) 正 味 財 産 増 減 計 算 書	P. 10
(2) 正 味 財 産 増 減 計 算 書 (予 算 対 比)	P. 14
(3) 貸 借 対 照 表	P. 18
(4) 財 産 目 録	P. 20
(5) 財 務 諸 表 の 注 記	P. 21

監 査 報 告 書	P. 22
-----------	-------

事業報告書

1 概要

(1) 総括事項

当法人の設置目的である”高砂市の勤労者福祉の充実及び向上”を図るため、定款第4条に規定する事業を令和2年度の事業計画に基づき実施した。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、高砂市勤労者総合福祉センターにおいては、緊急事態宣言発出中の令和2年4月8日から5月22日までの間は施設の休館を、また令和3年1月14日から3月7日の間は20時までの時間短縮を行うこととなったが、各種事業について必要な対策をとりながら可能な限り開催してきた。

福利厚生事業では、休館中・時短中の休講はあったものの、年間を通じてヨガ4講座と華道教室を実施するとともに、7・8月には夏の思い出づくりとして「親子陶芸教室」と「親子工作教室」を、10月には「親子芋ほり体験」、11月には元陸上競技選手の小林祐梨子氏を講師に迎えて「労働文化講演会」を開催した。なお、9月に開催を予定していた「親子体力測定会」は中止したがその代替事業として、12月に「にこにこスポーツチャレンジ」を実施した。

相談事業では、「若者しごと出張相談」を月2回（第2・4火曜日）、「若者自立支援セミナー＆相談会」を年間8回、10月には「弁護士による無料法律相談会」を実施した。「くらしのなんでも相談会」については、1月23日に開催する予定で募集していたが、緊急事態宣言の再発出により急きょ中止とした。また、6月に予定していた「採用支援セミナー」の代替事業として、2月21日に高砂市が主催する「地元企業合同就職面接＆相談会」を共催事業として実施した。

啓発事業では、生活応援セミナー（子育て編）として、12月に「きらきらクリスマス会」を、2月には「40年ぶりの相続法改正」をテーマに法律編セミナーを開催した。5月の「ちびっこフェスティバル」及び3月に年金編として予定していた「人生100年時代の生活設計セミナー」は、新型コロナウイルスの影響により中止した。

自主事業では、大人と幼児の英会話教室をそれぞれ1講座、ボディコントロール教室及びメンズヨガ教室をそれぞれ1講座実施した。

施設管理運営事業では、高砂市から指定管理者の指定を受け、施設の管理運営を行った。

令和2年度の利用件数は1,261件で、前年度に比べて490件の減となった。

施設の利用件数、事業運営は、新型コロナウイルスの影響で非常に厳しい状況となったが、国の持続化給付金、県の休業要請事業者経営継続支援金などを活用しながら、また、経費も節減しつつ対応をしてきた結果、事業の収支状況については、経常収益が40,240,934円、経常費用が38,070,948円となり、当期経常増減額は2,169,986円の増額となった。

以上が今年度を実施した事業概要であり、今後とも、新型コロナウイルスの状況を十分に注意しながら、施設の効率的な運営と充実した事業の実施に努めていきたい。

(2) 理事会に関する事項

区 分	開催年月日	内 容	結 果
第1回	令和 2年 5月14日	第1号議案 2019〔令和元〕年度（一財）高砂市勤労福祉財団事業報告の承認を求めることについて	承認
		第2号議案 2019〔令和元〕年度（一財）高砂市勤労福祉財団財務諸表の承認を求めることについて	承認
		第3号議案 公益目的支出計画実施報告書の承認を求めることについて	承認
		第4号議案 （一財）高砂市勤労福祉財団定款の一部改正について	可 決
		第5号議案 令和2年度 定時評議員会の招集について	承認
第2回	令和 3年 2月 4日	第6号議案 令和2年度 第1回（一財）高砂市勤労福祉財団収支補正予算について	可 決
		第7号議案 （一財）高砂市勤労福祉財団嘱託職員就業規程の一部改正について	可 決
		第8号議案 令和3年度（一財）高砂市勤労福祉財団事業計画について	可 決
		第9号議案 令和3年度（一財）高砂市勤労福祉財団収支予算について	可 決
		第10号議案 令和2年度 第2回評議員会の招集について	承認

(3) 評議員会に関する事項

区 分	開催年月日	内 容	結 果
第1回	令和 2年 5月29日	審議第1号 2019〔令和元〕年度（一財）高砂市勤労福祉財団事業報告の承認を求めることについて	承認
		審議第2号 2019〔令和元〕年度（一財）高砂市勤労福祉財団財務諸表の承認を求めることについて	承認
		審議第3号 公益目的支出計画実施報告書の承認を求めることについて	承認
		審議第4号 （一財）高砂市勤労福祉財団定款の一部改正について	可 決
		審議第5号 評議員の選任について	選 任
第2回	令和 3年 2月12日	審議第6号 令和2年度 第1回（一財）高砂市勤労福祉財団収支補正予算について	可 決
		審議第7号 （一財）高砂市勤労福祉財団嘱託職員就業規程の一部改正について	可 決
		審議第8号 令和3年度（一財）高砂市勤労福祉財団事業計画について	可 決
		審議第9号 令和3年度（一財）高砂市勤労福祉財団収支予算について	可 決

(4) 監査に関する事項

区 分	開催年月日	内 容
決算時監査	令和 2年 5月 8日	令和元年度 決算監査
中間監査	令和 2年11月10日	令和2年度 中間監査

(5) 役員に関する事項

区 分	氏 名	R2. 4. 1	R3. 3. 31
理 事	志方 正彦		理 事 長 副理事長
	今尾 昭広		
	松森 翔平		
	川上 崇		
	八木 功		
	西山 和仁		
	浜谷 和英		
監 事	天野 勝人		
	酒井 健司		
	木村 哲久		

(6) 評議員に関する事項

区 分	氏 名	R2. 4. 1	R3. 3. 31
評議員	籠谷 嘉昭		
	逸見 信也		
	青 柳 進		
	糀谷 正芳		
	長山 貴之		
	埴岡 英樹		
	奥本 祐巳		
	白水 千雄	4/27 辞任	
	田代 圭子	5/29 就任	
	永井 幹雄		
	北野 裕史		

(7) 職員に関する事項 (令和3年3月末 現在)

事務局長	所 長	事 務 員	計
1 人	1 人	3 人	5 人

2 事業

(1) 福利厚生事業の報告（定款第4条第1号）

教養文化、研修、スポーツ、健康等の福利厚生に関する事業を実施した。

ア 健康講座

() は令和元年度

講座名	対象者	定員	実施日	時間帯	受講者		受講料 (月額)
					延べ人数	1回平均	
ヨガA	勤労者等	30名	毎週火曜日 36回	10:30～12:00	489名 (1,028名)	13.6名 (21.4名)	2,000円
ヨガB	〃	30名	毎週水曜日 37回	10:30～12:00	582名 (934名)	15.7名 (19.5名)	2,000円
ヨガC	〃	30名	毎週水曜日 31回	19:00～20:30	393名 (917名)	12.7名 (19.1名)	2,000円
ストレッチヨガ	〃	30名	毎週金曜日 37回	10:45～11:45	471名 (1,053名)	12.7名 (21.0名)	2,000円

※ 新型コロナウイルスの影響で4月～6月を休講とした。

また、ヨガCについては、時短開館により1月～2月においても休講とした。

イ 教養講座

() は令和元年度

講座名	対象者	定員	実施日	時間帯	受講者		受講料 (月額)
					延べ人数	1回平均	
華道	勤労者等	16名	第2・4木曜日 20回	13:30～14:30	169名 (262名)	8.5名 (5.5名)	1,000円

※ 新型コロナウイルスの影響で4月～5月を休講とした。

ウ 夏の親子陶芸教室

() は令和元年度

対 象 者	定 員	実 施 日	時 間 帯	参 加 者	参 加 料
勤 労 者 等	親子各30組	7月26日(日)	10:00～12:00	29組 89名 (30組 87名)	1,000円/1作品
		8月 2日(日)	10:00～12:00	16組 51名 (26組 75名)	
○ 講 師	陶工房「希器」 児玉 修治 氏				
○ 内 容	夏の思い出に親子で陶器づくり				
○ 対 象 者	勤労者及び一般市民とその子ども				
○ 共 催 団 体	高砂市労働者福祉協議会、高砂市中小企業労働福祉協議会				

エ 夏の親子工作教室

() は令和元年度

対象者	定員	実施日	時間帯	参加者	参加料
勤労者等	親子30組	8月9日(日)	9:30～12:00	10組 25名 (18組 46名)	500円/1作品
○ 講師	岸本 彰治 氏 ・ 岸本 千恵 氏				
○ 内容	親子で楽しく工作づくり				
○ 対象者	勤労者及び一般市民とその子ども				
○ 共催団体	高砂市労働者福祉協議会、高砂市中小企業労働福祉協議会				

オ 親子で楽しく体力測定会

9月中旬の開催予定で準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染予防対策が十分にできないと判断し、中止をした。

カ 親子芋ほり体験

() は令和元年度

対 象 者	定 員	実 施 日	時 間 帯	参 加 者	参 加 料
勤 労 者 等	親子15組	10月24日(土)	10:00～11:30	15組 53名 (27組 92名)	1組 1,000円
○ 内 容	親子での芋ほり体験と焼き芋の試食会を実施				
○ 対 象 者	勤労者及び一般市民とその子ども				
○ 共 催 団 体	高砂市労働者福祉協議会、高砂市中小企業労働福祉協議会				

※ 新型コロナウイルス感染予防対策のため、定員を25組から15組に変更した。

キ 労働文化講演会

() は令和元年度

対 象 者	定 員	実 施 日	時 間 帯	参 加 者	参 加 料
勤 労 者 等	150名	11月21日(土)	14:00～15:30	86名 (262名)	無 料
○ 講 師	小林 祐梨子 氏 (元陸上競技選手・スポーツコメンテーター)				
○ 内 容	「人との絆(たすき)に込めた想い」と題して講演				
○ 共 催 団 体	高砂市労働者福祉協議会、高砂市中小企業労働福祉協議会				
○ 後 援	高 砂 市				

※ 新型コロナウイルス感染予防対策のため、定員を300名から150名に変更した。

ク にこにこスポーツチャレンジ (計 画 外)

対 象 者	定 員	実 施 日	時 間 帯	参 加 者	参 加 料
勤 労 者 等	第1部 100名	12月 6日(日)	13:00～16:30	第1部 70名	無 料
	第2部 60名			第2部 47名	
○ 内 容	第 1 部 ニューススポーツ体験会&体力測定会 第 2 部 走り方ワンポイントレッスン				
○ 対 象 者	勤労者及び一般市民				
○ 主 催 団 体	高 砂 市				
○ 共 催 団 体	高砂市スポーツ推進委員・（公財）高砂市施設利用振興財団 （一財）高砂市勤労福祉財団				

※ 「親子で楽しく体力測定会」の代替事業として実施した。

(2) 相談及び情報提供事業の報告（定款第4条第3号）

勤労者が就労していく過程での様々な問題について、専門的な立場から適切な助言指導を行うとともに、勤労者福祉に関する情報の収集及び提供を行った。

ア 相談事業内容

() は令和元年度

事業名	対象者	実施日	時間帯	相談及び参加人数	備考
若者しごと出張相談	一般市民	第2・4 火曜日	13:00～16:00	25 件 (7 件)	
若者自立支援 セミナー&相談会 (あかし若者サポート ステーション)	一般市民	6月9日(火)	10:00～12:00	8 名	
		7月14日(火)		2 名	
		9月12日(土)		5 名	
		10月13日(火)		4 名	
		11月10日(火)		5 名	
		12月8日(火)		1 名	
		1月12日(火)		2 名	
		2月9日(火)		中 止	緊急事態宣言による
		3月9日(火)		5 名	

事業名	対象者	実施日	時間帯	相談件数	備考
弁護士による無料 法律相談会	勤労者等	10月14日(水)	13:00～16:00	6 件	(計画外)
○ 相談員 塩崎 篤史 氏 (近畿弁護士会連合会)					
○ 共催団体 高砂市・近畿弁護士会連合会					

事業名	対象者	実施日	時間帯	面接者数	備考
地元企業合同 就職面接&相談会	一般求職者・大学 等卒業予定者	2月21日(日)	13:30～16:00	52 名	(計画外)
○ 参加企業 11社					
○ 主催団体 高砂市、ハローワーク加古川					
○ 共催団体 (一財)高砂市勤労福祉財団					
○ 協力 高砂商工会議所、あかし若者サポートステーション					

※ 「採用支援セミナー」の代替事業として実施した。

○ 採用支援セミナー

6月に開催予定であったが、新型コロナウイルスの状況をみて開催を中止した。
新型コロナウイルスの影響や採用のタイミングも考慮し、その後のセミナー開催も断念した。

○ くらしのなんでも相談会

1月23日の開催で相談の募集を開始していたが、1月14日の新型コロナウイルス感染症
緊急事態宣言の再発出により、対面での相談業務が三密を回避できないと判断し、中止した。

イ 資料の収集と提供

- ① 図書(労働・健康・余暇・福祉等)の閲覧を行った。
- ② ハローワーク加古川から情報の提供を受け、それらの情報を情報コーナーにおいて提供した。

(3) 啓発事業の報告（定款第4条第4号）

勤労者福祉に関する啓発を図るための各種セミナーを開催した。

生活応援セミナー

() は令和元年度

セミナー名	対象者	定員	実施日	時間帯	参加者	参加料
きらきらクリスマス会 (子育て編)	就園前親子	30組	12月 2日(水) ～ 4日(金)	10:00～11:00	30組 67名 (91組 200名)	無 料
○ 内 容 楽しいクリスマスの遊び ～おはなし・リズム遊びをみんなで楽しもう～ ○ 主 催 団 体 (一財) 高砂市勤労福祉財団、高砂市子育て支援センター ○ 共 催 団 体 高砂市労働者福祉協議会、高砂市中小企業労働福祉協議会						

※ 新型コロナウイルス感染予防対策のため、日程を3日に分けるとともに、
定員を100組から30組に変更した。

() は令和元年度

セミナー名	対象者	定員	実施日	時間帯	参加者	参加料
40年ぶりの相続法改正 (法 律 編)	勤労者等	—	2月23日(火)	10:00～11:30	15 名 (18 名)	無 料
○ 講 師 塩崎法律事務所 弁護士 塩崎 篤史 氏 ○ 内 容 40年ぶりの相続法改正 ～争いにならないための準備を～ ○ 共 催 団 体 高砂市労働者福祉協議会、高砂市中小企業労働福祉協議会						

○ ふれあいフェスティバル（子育て編）

生活応援セミナー（子育て編）のうち、5月に予定をしていた「ふれあいフェスティバル」
については、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言及び兵庫県の休業要請が発せられていた
ため、開催を中止した。

○ 人生100年時代の生活設計について（年金編）

3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の再発出により、講師
依頼が困難となったことから開催を中止した。

(4) 施設管理運営事業の報告（定款第4条第2号）

高砂市が設置する高砂市勤労者総合福祉センターを良好な状態で管理するとともに、
教養文化の向上、健康の維持増進及び心身のリフレッシュを図る場所を提供した。

高砂市勤労者総合福祉センター（生石研修センター）

(単位：件)

室 名	利用件数	前 年 度 利用件数	増 減	備 考
多目的ホール	293	326	△ 33	
会 議 室 (1)	144	229	△ 85	
教 養 文 化 室	163	233	△ 70	
研 修 室 (1)	375	492	△ 117	
会 議 室 (2)	51	96	△ 45	
研 修 室 (2)	202	313	△ 111	
図 書 室	33	62	△ 29	無料開放
合 計	1,261	1,751	△ 490	

(5) 自主事業の報告（定款第4条第5号）

自主事業として次の事業を実施した。

ア 英 会 話 教 室

() は令和元年度

コ ー ス	対 象 者	募集人数	実施回数	時 間 帯	受 講 者		受 講 料 (月額)
					延べ人数	1回平均	
大 人	勤 労 者 等	20名	土曜日 35回	10:00～12:00	374名 (475名)	10.7名 (11.3名)	3,500円
幼 児	就学前の幼児	12名	土曜日 30回	10:00～11:00	275名 (344名)	9.2名 (9.6名)	3,000円
○ 内 容 大人コース：外国人と英語でコミュニケーションできる楽しさを知ってもらうコース 幼児コース：遊びを通じて自然に英語を身につける幼児英語コース							

※ 新型コロナウイルスの影響で4月～5月を休講とした。

イ 健 康 講 座

() は令和元年度

講 座 名	対 象 者	定 員	実 施 日	時 間 帯	受 講 者		受 講 料 (月額)
					延べ人数	1回平均	
ボディコントロール教室	勤 労 者 等	30名	毎週火曜日 30回	19:00～20:30	367名 (715名)	12.2名 (14.9名)	2,000円
メンズヨガ教室	勤 労 者 等	15名	第1・3日曜日 19回	10:00～11:30	129名 (153名)	6.8名 (6.4名)	1,000円

※ 新型コロナウイルスの影響で4月～6月を休講とした。

また、ボディコントロール教室については、時短開館により1月～2月においても休講とした。

3. 財務諸表

(1) 正味財産増減計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	928	773	155
基本財産受取利息	928	773	155
事業収益	24,137,800	27,221,300	△ 3,083,500
事業収益	10,757,800	14,277,300	△ 3,519,500
指定管理料収益	13,380,000	12,944,000	436,000
受取補助金等	12,236,201	13,072,000	△ 835,799
受取市補助金	12,236,201	13,072,000	△ 835,799
雑収益	3,866,005	244,442	3,621,563
受取利息	152	131	21
雑収益	3,865,853	244,311	3,621,542
経常収益計	40,240,934	40,538,515	△ 297,581
(2) 経常費用			
事業費	34,078,165	36,034,179	△ 1,956,014
給料手当	11,355,100	11,716,500	△ 361,400
臨時雇賃金	305,790	204,425	101,365
福利厚生費	1,772,720	1,885,321	△ 112,601
旅費交通費	5,000	5,000	0
通信運搬費	139,215	186,695	△ 47,480
消耗什器備品費	359,294	18,230	341,064
消耗品費	405,831	423,697	△ 17,866
修繕費	1,581,060	911,120	669,940
印刷製本費	214,182	106,000	108,182
燃料費	1,312,479	2,349,546	△ 1,037,067
光熱水料費	1,888,538	2,566,683	△ 678,145
賃借料	390,418	240,575	149,843
使用料	2,706,270	2,780,470	△ 74,200
保険料	177,300	251,250	△ 73,950
諸謝金	1,672,000	2,364,000	△ 692,000
租税公課	1,747,300	718,300	1,029,000
原材料費	105,850	134,409	△ 28,559
委託費	7,801,385	9,014,805	△ 1,213,420
雑費	138,433	157,153	△ 18,720

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費	3,992,783	4,775,098	△ 782,315
給料手当	1,723,800	1,807,500	△ 83,700
臨時雇賃金	0	173,000	△ 173,000
福利厚生費	286,703	287,635	△ 932
会議費	2,484	7,687	△ 5,203
旅費交通費	86,560	117,310	△ 30,750
通信運搬費	111,551	117,211	△ 5,660
減価償却費	312,500	312,500	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	18,651	22,576	△ 3,925
修繕費	6,053	32,395	△ 26,342
印刷製本費	77,499	101,146	△ 23,647
賃借料	277,992	439,344	△ 161,352
使用料	371,900	387,540	△ 15,640
保険料	121,330	146,410	△ 25,080
租税公課	331,900	422,500	△ 90,600
負担金	26,400	162,180	△ 135,780
委託費	220,000	216,000	4,000
雑費	17,460	22,164	△ 4,704
経常費用計	38,070,948	40,809,277	△ 2,738,329
当期経常増減額	2,169,986	△ 270,762	2,440,748
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,169,986	△ 270,762	2,440,748
一般正味財産期首残高	8,392,018	8,662,780	△ 270,762
一般正味財産期末残高	10,562,004	8,392,018	2,169,986
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	110,562,004	108,392,018	2,169,986

正味財産増減計算内訳表

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	実施事業等会計				その他会計			法人会計	合 計
	福利厚生事業	相談事業	啓発事業	小 計	研修センター	自主事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	928	928
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	928	928
事業収益	1,416,500	0	0	1,416,500	21,581,300	1,140,000	22,721,300	0	24,137,800
福利厚生事業収益	1,416,500	0	0	1,416,500	0	0	0	0	1,416,500
研修センター利用料収益	0	0	0	0	8,201,300	0	8,201,300	0	8,201,300
自主事業収益	0	0	0	0	0	1,140,000	1,140,000	0	1,140,000
指定管理料収益	0	0	0	0	13,380,000	0	13,380,000	0	13,380,000
受取補助金等	4,801,385	1,561,408	1,345,408	7,708,201	0	0	0	4,528,000	12,236,201
受取市補助金	4,801,385	1,561,408	1,345,408	7,708,201	0	0	0	4,528,000	12,236,201
雑収益	0	0	0	0	3,718,538	126,748	3,845,286	20,719	3,866,005
受取利息	0	0	0	0	121	0	121	31	152
雑収益	0	0	0	0	3,718,417	126,748	3,845,165	20,688	3,865,853
経常収益計	6,217,885	1,561,408	1,345,408	9,124,701	25,299,838	1,266,748	26,566,586	4,549,647	40,240,934
(2) 経常費用									
事業費	6,948,857	1,467,013	1,265,695	9,681,565	22,327,053	2,069,547	24,396,600	0	34,078,165
給料手当	3,102,840	1,034,280	1,034,280	5,171,400	6,183,700	0	6,183,700	0	11,355,100
臨時雇賃金	0	0	0	0	305,790	0	305,790	0	305,790
福利厚生費	515,377	171,765	171,765	858,907	913,813	0	913,813	0	1,772,720
旅費交通費	5,000	0	0	5,000	0	0	0	0	5,000
通信運搬費	0	31,034	0	31,034	103,824	4,357	108,181	0	139,215
消耗什器備品費	0	29,810	0	29,810	329,484	0	329,484	0	359,294
消耗品費	15,812	57,474	9,900	83,186	285,850	36,795	322,645	0	405,831
修繕費	0	0	0	0	1,581,060	0	1,581,060	0	1,581,060
印刷製本費	0	0	0	0	174,182	40,000	214,182	0	214,182
燃料費	0	0	0	0	1,312,479	0	1,312,479	0	1,312,479
光熱水料費	0	0	0	0	1,888,538	0	1,888,538	0	1,888,538
賃借料	0	0	0	0	390,418	0	390,418	0	390,418
使用料	1,703,300	39,900	19,200	1,762,400	24,770	919,100	943,870	0	2,706,270
保険料	146,650	0	0	146,650	12,650	18,000	30,650	0	177,300
諸謝金	1,187,000	0	30,000	1,217,000	0	455,000	455,000	0	1,672,000
租税公課	0	0	0	0	1,747,300	0	1,747,300	0	1,747,300
原材料費	105,850	0	0	105,850	0	0	0	0	105,850
委託費	127,000	100,000	0	227,000	7,035,385	539,000	7,574,385	0	7,801,385
雑費	40,028	2,750	550	43,328	37,810	57,295	95,105	0	138,433

(単位：円)

科 目	実施事業等会計				その他会計			法人会計	合 計
	福利厚生事業	相談事業	啓発事業	小 計	研修センター	自主事業	小 計		
管理費	0	0	0	0	0	0	0	3,992,783	3,992,783
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	1,723,800	1,723,800
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	286,703	286,703
会議費	0	0	0	0	0	0	0	2,484	2,484
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	86,560	86,560
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	111,551	111,551
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	312,500	312,500
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	18,651	18,651
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	6,053	6,053
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	77,499	77,499
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	277,992	277,992
使用料	0	0	0	0	0	0	0	371,900	371,900
保険料	0	0	0	0	0	0	0	121,330	121,330
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	331,900	331,900
負担金	0	0	0	0	0	0	0	26,400	26,400
委託費	0	0	0	0	0	0	0	220,000	220,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0	17,460	17,460
経常費用計	6,948,857	1,467,013	1,265,695	9,681,565	22,327,053	2,069,547	24,396,600	3,992,783	38,070,948
当期経常増減額	△ 730,972	94,395	79,713	△ 556,864	2,972,785	△ 802,799	2,169,986	556,864	2,169,986
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 730,972	94,395	79,713	△ 556,864	2,972,785	△ 802,799	2,169,986	556,864	2,169,986
一般正味財産期首残高	△ 3,638,112	△ 1,999,232	△ 1,424,271	△ 7,061,615	6,220,603	△ 42,596	6,178,007	9,275,626	8,392,018
一般正味財産期末残高	△ 4,369,084	△ 1,904,837	△ 1,344,558	△ 7,618,479	9,193,388	△ 845,395	8,347,993	9,832,490	10,562,004
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	100,000,000	100,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	100,000,000	100,000,000
III 正味財産期末残高	△ 4,369,084	△ 1,904,837	△ 1,344,558	△ 7,618,479	9,193,388	△ 845,395	8,347,993	109,832,490	110,562,004

(2) 正味財産増減計算書(予算対比)

実施事業等会計

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	実 施 事 業 等 会 計		
	予 算 額	決 算 額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	1,405,000	1,416,500	△ 11,500
福利厚生事業収益	1,405,000	1,416,500	△ 11,500
受取補助金等	8,544,000	7,708,201	835,799
受取市補助金	8,544,000	7,708,201	835,799
経常収益計	9,949,000	9,124,701	824,299
(2) 経常費用			
事業費	11,406,000	9,681,565	1,724,435
給料手当	6,075,000	5,171,400	903,600
臨時雇賃金	0	0	0
福利厚生費	993,000	858,907	134,093
旅費交通費	5,000	5,000	0
通信運搬費	70,000	31,034	38,966
消耗什器備品費	30,000	29,810	190
消耗品費	97,000	83,186	13,814
印刷製本費	0	0	0
使用料	1,980,000	1,762,400	217,600
保険料	221,000	146,650	74,350
諸謝金	1,298,000	1,217,000	81,000
原材料費	173,000	105,850	67,150
委託費	413,000	227,000	186,000
雑費	51,000	43,328	7,672
経常費用計	11,406,000	9,681,565	1,724,435
当期経常増減額	△ 1,457,000	△ 556,864	△ 900,136

注(1) 使用料より11,000円を流用し、スポーツチャレンジ参加景品購入の不足分を支払った。

法 人 会 計
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位: 円)

科 目	法 人 会 計		
	予 算 額	決 算 額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	928	72
基本財産受取利息	1,000	928	72
受取補助金等	4,528,000	4,528,000	0
受取市補助金	4,528,000	4,528,000	0
雑収益	25,000	20,719	4,281
受取利息	1,000	31	969
雑収益	24,000	20,688	3,312
経常収益計	4,554,000	4,549,647	4,353
(2) 経常費用			
管理費	4,537,000	3,992,783	544,217
給料手当	2,025,000	1,723,800	301,200
臨時雇賃金	0	0	0
福利厚生費	351,000	286,703	64,297
会議費	7,000	2,484	4,516
旅費交通費	182,000	86,560	95,440
通信運搬費	132,000	111,551	20,449
減価償却費	313,000	312,500	500
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	30,000	18,651	11,349
修繕費	30,000	6,053	23,947
印刷製本費	78,000	77,499	501 注(1)
賃借料	278,000	277,992	8
使用料	372,000	371,900	100 注(2)
保険料	125,000	121,330	3,670
租税公課	337,000	331,900	5,100
負担金	27,000	26,400	600
委託費	220,000	220,000	0
雑費	30,000	17,460	12,540
経常費用計	4,537,000	3,992,783	544,217
当期経常増減額	17,000	556,864	△ 539,864

注(1) 旅費交通費より6,000円を流用し、コピー使用料の不足分を支払った。

注(2) 旅費交通費より5,000円を流用し、研修センター利用料の不足分を支払った。

その他会計

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	そ の 他 会 計		
	予 算 額	決 算 額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	22,352,000	22,721,300	△ 369,300
自主事業収益	1,172,000	1,140,000	32,000
研修センター利用料収益	7,800,000	8,201,300	△ 401,300
指定管理料収益	13,380,000	13,380,000	0
雑収益	3,542,000	3,845,286	△ 303,286
受取利息	1,000	121	879
雑収益	3,541,000	3,845,165	△ 304,165
経常収益計	25,894,000	26,566,586	△ 672,586
(2) 経常費用			
事業費	25,094,000	24,396,600	697,400
給料手当	6,362,000	6,183,700	178,300
臨時雇賃金	306,000	305,790	210 注(1)
福利厚生費	1,093,000	913,813	179,187
通信運搬費	111,000	108,181	2,819
消耗什器備品費	330,000	329,484	516 注(2)
消耗品費	335,000	322,645	12,355
修繕費	1,582,000	1,581,060	940 注(3)
印刷製本費	215,000	214,182	818 注(4)
燃料費	1,313,000	1,312,479	521
光熱水料費	1,890,000	1,888,538	1,462
賃借料	402,000	390,418	11,582
使用料	945,000	943,870	1,130
保険料	31,000	30,650	350
諸謝金	612,000	455,000	157,000
租税公課	1,748,000	1,747,300	700 注(5)(6)(7)
委託費	7,687,000	7,574,385	112,615
雑費	132,000	95,105	36,895
経常費用計	25,094,000	24,396,600	697,400
当期経常増減額	800,000	2,169,986	△ 1,369,986

注(1) 委託費より93,000円を流用し、清掃業務の賃金を支払った。

注(2) 光熱水料費より330,000円を流用し、ブラインド・カーテン・ラジカセ・ヘッジトリマーを購入した。

注(3) 燃料費より482,000円を流用し、エレベーター機能維持修繕・消火補給水槽給水管修繕・非常照明バッテリー取替修繕を行った。

注(4) 燃料費より76,000円を流用し、研修センターのパフレットを作成した。

注(5) 燃料費より280,000円を流用し、法人税等の不足分を支払った。

注(6) 光熱水料費より305,000円を流用し、法人税等の不足分を支払った。

注(7) 委託費より363,000円を流用し、法人税等の不足分を支払った。

このページは空白です

(3) 貸借対照表

貸借対照表総括表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,336,785	10,591,011	3,745,774
現金	72,453	39,657	32,796
普通預金	14,264,332	10,551,354	3,712,978
未収金	130,270	85,454	44,816
流動資産合計	14,467,055	10,676,465	3,790,590
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	456,186	768,686	△ 312,500
固定資産合計	100,456,186	100,768,686	△ 312,500
資産合計	114,923,241	111,445,151	3,478,090
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	4,361,237	3,053,133	1,308,104
負債合計	4,361,237	3,053,133	1,308,104
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産計	10,562,004	8,392,018	2,169,986
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	110,562,004	108,392,018	2,169,986
負債及び正味財産合計	114,923,241	111,445,151	3,478,090

貸 借 対 照 表 内 訳 表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	138,488	10,967,127	3,231,170	14,336,785
現金	12,004	49,987	10,462	72,453
普通預金	126,484	10,917,140	3,220,708	14,264,332
未収金	72,000	58,270	0	130,270
流動資産合計	210,488	11,025,397	3,231,170	14,467,055
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産積立預金	0	0	100,000,000	100,000,000
基本財産合計	0	0	100,000,000	100,000,000
(2) 特定資産				
車両運搬具減価償却引当資産	0	0	0	0
特定資産合計	0	0	0	0
(3) その他固定資産				
車両運搬具	0	0	1,250,000	1,250,000
車両運搬具減価償却累計額	0	0	△ 1,093,750	△ 1,093,750
電話加入権	74,984	74,984	149,968	299,936
その他固定資産合計	74,984	74,984	306,218	456,186
固定資産合計	74,984	74,984	100,306,218	100,456,186
資産合計	285,472	11,100,381	103,537,388	114,923,241
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	903,640	2,815,739	286,657	4,006,036
預り金	164,072	86,617	104,512	355,201
他会計借入	6,836,239	△ 149,968	△ 6,686,271	0
流動負債合計	7,903,951	2,752,388	△ 6,295,102	4,361,237
負債合計	7,903,951	2,752,388	△ 6,295,102	4,361,237
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄付金	0	0	100,000,000	100,000,000
指定正味財産合計	0	0	100,000,000	100,000,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(100,000,000)	(100,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	△ 7,618,479	8,347,993	9,832,490	10,562,004
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	△ 7,618,479	8,347,993	109,832,490	110,562,004
負債及び正味財産合計	285,472	11,100,381	103,537,388	114,923,241

(4) 財産目録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	72,453	
預金		
普通預金 兵庫南農協 高砂西支店		
口座番号 0010905	14,248,346	
普通預金 三井住友銀行 高砂支店		
口座番号 7014232	15,986	
未収金		
ヨガ傷害保険料返還	72,000	
自販機手数料等未収金	58,270	
流動資産合計		14,467,055
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産積立預金		
普通預金 近畿労働金庫		
東播加古川支店		
口座番号 8425057	100,000,000	
基本財産合計	100,000,000	
(2) 特定資産		
車両運搬具減価償却引当資産	0	
特定資産合計	0	
(3) その他固定資産		
構築物		
車両運搬具		
スズキ エブリイ 姫路480ち2855	1,250,000	
車両運搬具減価償却累計額	△ 1,093,750	
電話加入権	299,936	
その他固定資産合計	456,186	
固定資産合計		100,456,186
資産合計		114,923,241
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
消費税等	1,546,700	
高砂市返済金 (自動販売機電気代)	886,934	
勤労者総合福祉センター費未払金	1,351,917	
その他コピー使用料等未払金	220,485	
預り金		
健康保険預り金	63,998	
厚生年金預り金	83,265	
所得税等預り金	207,938	
流動負債合計		4,361,237
負債合計		4,361,237
正味財産		110,562,004

(5) 財務諸表の注記

1 重要な会計方針

(1) 会計基準について

会計基準は、公益法人会計基準（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）を採用した。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、償却原価法（定額法）を採用している。

(3) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産は、定額法を採用している。

(4) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	0	0	0	0
預 金	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
減価償却引当資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	100,000,000	0	0	100,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
有価証券	0	(0)	—	—
預 金	100,000,000	(100,000,000)	—	—
小 計	100,000,000	(100,000,000)	—	—
特定資産				
減価償却引当資産	0	—	—	—
小 計	0	—	—	—
合 計	100,000,000	(100,000,000)	—	—

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
一般財団法人高砂市勤労福祉財団運営費補助金	高砂市	0	12,236,201	12,236,201	0	—
合 計		0	12,236,201	12,236,201	0	

監 査 報 告 書

令和3年 5月 7日

一般財団法人 高砂市勤労福祉財団

理事長 志 方 正 彦 様

一般財団法人 高砂市勤労福祉財団

監 事

木村 哲久

監 事

天野 勝人

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

記

1 監査の方法及びその内容

各監事は、役職員と意思疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、役職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めた上、決裁書類等により業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法により、当該事業年度に係る事業報告書等（事業報告及びその付属明細書）について確認いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表（正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録）について確認いたしました。

2 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）財務諸表等の監査結果

財務諸表等は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。